

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成20年 6月27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	( 評価機関で記入 ) 3 4 7 4 4 0 0 5 1 6
法人名	有限会社 アイ
事業所名	グループホーム アイケアホーム
所在地	広島県福山市神辺町字東中条1177 - 2 (電 話) 084 - 960 - 2341
評価機関名	特定非営利活動法人 西日本医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成20年6月27日

## 【情報提供票より】(20年 5月 25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 17 年 7 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	人 常勤 人, 非常勤 人, 常勤換算 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り 1 階建ての 1 階 ~ 階部分
------	-----------------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	43,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷 金	有( 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) 無 入居金 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

### (4) 利用者の概要( 2月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名
要介護3	1 名	要介護4	4 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 86.77 歳	最低 78 歳	最高 97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	亀川病院、小川内科胃腸科医院、おきとう歯科クリニック
---------	----------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームアイケアホームは、緑が多い閑静な場所にあり、施設長が地域の町内会長ということもあって、地域の方々との交流も活発なホームである。又アイケアホームという名前の由来も施設長の「愛」というテーマのこだわりがある様に思われる。「いつまでも残るものは愛である」の通り、ひとつの家族のように関わり合い、入居者が安心して暮らせる様なホームの目標を管理者、職員が話し合い運営されることが期待される。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	今年になって、市の保健福祉課の職員が運営推進会議に出席されるようになった。運営に関する改善は、管理者、ケアマネージャーとも積極的に取り組んでおられる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	地域密着を目指した評価をされ、具体的に取り組んでおられる。地域の中の認知症介護の根拠となるよう期待する。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1回、開催されている。地域とのつながりや夏祭り等、話し合いをした。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族が来所された時、個別に対応している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の行事に参加したり、ホームの行事に来てもらったりして交流している。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者様本位のサービスを提供することによって地域社のセーフティネットの一翼を担い、それを発展させていくことを使命としている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全職員が理念を共有していられる事が重要。		毎日の申し送りの時に、皆で唱和されるなど、一体感となる取り組みを期待します。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会福祉部と合同により、近所で花見等を楽しんでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営推進会議の中で、管理者より話しがあった。		内容を管理者、職員と一緒に話し合い、具体的に運営に生かされることを期待します。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、民生委員、家族、包括支援センター、職員が参加して開催している。今回は、市職員も参加して、地域とのつながりや夏祭り等、話し合った。		

グループホーム アイケアホーム

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者と相談、指導を受け、質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族は、ホームへの支払いを直接、持ってきてもらう事とし、入居者の様子を伝えている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議の時に話しを聞くようにしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職等による利用者への不穏をできるだけ少なくするように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップする為に個人でも研修に参加している。		全職員の声を聞く会議を持たれる事を望みます。又、管理者とケアマネージャーが一体となった職員育成を期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者のケアマネ同士の交流をしながら、情報交換をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者、入居者の家族と職員と一緒に話し合いながら馴染んでもらっている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>昼は出来るだけ共用空間に居るようにして、入居者とよく話している。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者一人ひとりの思いや希望や意向については、よく聞き取り、把握して対処している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者が入院され、その後退院前にサービス担当者会議に参加し、介護計画に反映させている。</p>		<p>職員が参加してのカンファレンスをされる事を望みます。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月に1回及び変化が生じた時には、見直しをしている。</p>		<p>家族、職員の意見が入るように話し合いをされることを期待します。</p>

グループホーム アイケアホーム

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院のための外出支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者及び家族の希望する病院で受診している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末ケアに向けては、家族と話し合っている。		7月より医療連携体制加算の指定を申請する予定である。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録や個人情報は事務室の鍵のある戸棚に保管している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の生活ペースがゆったりとして、安心のある空間である。		

グループホーム アイケアホーム

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の献立には、職員の配慮が感じられる。入居者は、ほとんど完食である。		食事時間にもう少し会話があっても良い。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回午前と午後に分けて入浴介助を行なっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの能力に応じた役割をしている。時には外食をしたり、花見等に出掛ける。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者と家族、職員が全員で一泊旅行をした。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、日中開いているが、玄関に出る前のドアは施錠している。		徘徊されている方が、落ち着かれたら、改めて検討される事を期待します。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回、消防署から来られ訓練している。		

グループホーム アイケアホーム

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人ごとにきちんと記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には、ピアノが置いてあり、ボランティアが来て音楽療法も取り入れている。七夕まつりに向けて居間に笹が置かれ、準備中であった。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や日用品があり、居心地よい空間になっている。		